

渡邊 進 南米産業開発青年隊協会会長が里帰りされました

産業開発青年隊同窓会長 鈴木 浩明

5月ゴールデンウィーク明け、松永先輩より渡辺 進先輩が帰国されとの連絡をいただきました。そして、5月13日（火曜日）割烹酔月で、歓迎会が行われました。参加者は、渡辺進先輩、志方進南米事務局長、本間光信さん、松永泰然先輩、村松秀雄先輩、芝川修先輩、石川祐三先輩、栗田富夫先輩、そしてわたくしの9名です。夕方17時に酔月に集合、20時にお開きの3時間に大変楽しい懇親会でした。

渡辺先輩より近況の説明がありました。70周年記念大会前より、めまいや、思考停止などの障害が起こり、病院の診察を受けたそうです。その結果、脳に行く4本の頸動脈の1本が詰まっており、それにより障害が発生していることが分かったそうです。薬の調合が難しく、調子が良くなったり、悪くなったりを繰り返し、今日まで来たそうです。

そのような状況の中、最後の帰国になるかもしれないとの覚悟をもって、帰国されたそうです。しかし、同期の方々の、愉快的話を聞きながら、元気を取り戻されたようで、次周年記念大会には、ぜひ参加できるように体の調子を整えていきたいと、心強い言葉をいただきました。

私たち同窓生の中でも、年代により青年隊、中訓、建大と呼称が異なりますが、昭年40年代の方々（青年隊）の熱き思いは、いつまでも変わらず、生涯青年隊の意気込みが感じられます。長澤先生の熱き思いを受け継がれている方々の、熱きお話を聞くことができました。ぜひ、再会を楽しみにしたいと思います。

